

Foundation for Fusion of Science & Technology

第 2 3 期 事 業 報 告 書

自 平成 2 8 年 4 月 1 日

至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 科学技術融合振興財団

目 次

設立趣旨	2
ご挨拶	3
I. 事業概況	4
1. 調査研究への助成	4
2. 平成28年度研究助成の選考結果について	5
3. FOST 賞の贈呈	10
II. 財団の概況	11
1. 主要な事業内容	11
2. 事業所	11
3. 平成28年度 理事会・評議員会	11
4. 平成28年度 審査委員会	12
III. 事業報告附属明細書	13

設 立 趣 旨

当財団は、次のような趣旨により1994年4月に設立いたしました。

わが国は多くの科学技術分野で目覚ましい発展をとげてまいりました。そして科学技術には、より豊かな人間社会と人間文化の実現に、より一層係わりを深め、その役割を果たしていくことが強く求められております。このような認識のもとに当財団は設立され、特にシミュレーション&ゲーミングの研究など科学技術の融合を促すような課題の研究を標榜し、わが国では極めてユニークな存在として事業活動を展開しております。当財団は、2012年4月に公益財団法人へ移行いたしました。今後、より広範な分野にわたる内外の学識経験者や専門家を結ぶネットワークを形成し、シミュレーション&ゲーミングの研究をはじめとする科学技術の調査研究への助成及び国際交流への助成などの事業を推進し、より豊かな人間社会と人間文化の実現に貢献したいと考える次第でございます。

ご 挨拶

理事長 襟川 陽一

皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り心より厚く御礼申し上げます。このほど第23期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の事業報告書をお届けするにあたり、当期間における事業概況をご報告申し上げます。

本年度の主たる事業であります調査研究への助成につきましては、当財団設立当初から実施している研究助成事業に加えて、若手研究者の独創的な研究を対象として平成13年度に設置した補助金事業を含め、多数の興味深い研究テーマが応募されました。審査委員会では活発な議論が行なわれ、公正な審査を経て助成および補助の決定をさせて頂きました。

当財団では「科学技術の融合に関する功労者等の表彰」も事業活動の一環としておりますが、平成19年度より研究助成金・補助金を受けた研究者の成果報告書の中から最も優れた研究を選考し、その研究者に対してFOST賞を贈呈しております。平成20年度には若手研究者を対象に賞が新設され、平成25年度からFOST新人賞としました。さらに平成23年度にはゲームの研究・開発・応用に関連して顕著な業績を上げた人を表彰する賞として「FOST社会貢献賞」を加えて、研究者の励みになるような表彰活動を実施しております。

今後とも先進性かつ創造性あふれるシミュレーション&ゲーミングなどの調査研究を助成させて戴くと共に、その普及啓発と国際交流にも努め、社会の発展に貢献してまいりたいと考えております。

今後の財団活動に格別の理解と協力を賜りますようお願い申し上げます。

I・事業概況

平成28年度の事業概況：第23期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の事業概要は次の通りです。

(1) 調査研究への助成

本年度も従来どおり、調査研究助成事業および補助金事業を設置して募集を行いました。助成予定金額は、昨年度と同じく調査研究助成金13百万円、補助金3百万円、総額16百万円といたしました。

募集につきましては平成28年6月に、例年通り全国の大学および社会科学系を中心とした大学院へ約500件の募集要領を送付したほか、ホームページで公開募集をし、さらにゲーム関連諸団体、諸学会にもメールで案内をいたしました。平成28年10月15日応募締め切りのところ10月31日到着分まで受け付け、応募数は調査研究として55件、補助金として23件、合計で78件の応募件数となりました。昨年の実績と比べますと、調査研究応募件数は6件、補助金の方は4件増となりました。

平成28年12月15日に審査委員会を開催し、公正な審査を経て、調査研究助成として22件、補助金として19件を採択し、助成を行いました。

I. 研究助成事業

研究課題

A. シミュレーション&ゲーミングに関する調査研究

- ・国際関係、国民経済・社会、地域計画、都市計画、まちづくりなど
社会システム領域におけるシミュレーション&ゲーミング研究
- ・ビジネスゲーム等の「経済・経営」に関するシミュレーション&ゲーミング研究
- ・集団意思決定、問題の解決、政策評価などを支援するシミュレーション&ゲーミング研究
- ・協働・協調作業、組織学習などを支援するシミュレーション&ゲーミング研究
- ・異文化理解、自己実現、課題発見のためのシミュレーション&ゲーミング研究
- ・その他シミュレーション&ゲーミングに関する調査研究

B. 情報技術、ネットワーク技術を応用した

- ・シミュレーション&ゲーミングによる学習用ソフトウェアの試作
(学習用ソフトウェアを通じて行う青少年科学技術啓蒙活動)
- ・社会に役立つシリアスゲームの調査研究

AB共に第23期実績として1件20万円～120万円で、総額1,300万円を助成。

II. 補助金事業

研究課題

C. シミュレーション&ゲーミングの先進的独創的な手法の研究

若手研究者を対象に、第23期実績として1件8.2万円～30万円で、総額300万円を助成。

2. 平成28年度研究助成の選考結果について

本年度の調査研究助成の概況は次の通りです。

①応募状況

	研究助成事業		補助金事業	
	件数	申請金額	件数	申請金額
平成28年度	55 ^件	57,315,540 円	23 ^件	6,508,300 円
平成27年度	49 ^件	48,726,760 円	19 ^件	4,773,500 円
平成26年度	53 ^件	56,855,200 円	27 ^件	7,692,100 円

②研究課題分野別内訳

分類	平成26年度	平成27年度	平成28年度
情報科学	14	10	11
社会	20	7	15
医学・福祉	8	9	9
教育	19	21	19
生物	1	1	0
物理	1	0	0
環境	1	1	4
図形・デザイン	0	0	1
経営・経済	5	7	10
土木建築	0	0	2
化学	1	2	0
数学	0	0	0
その他	10	9	7
（心理学）	（3）	（3）	（0）
（コミュニケーション）	（1）	（3）	（1）
（防災）	（2）	（1）	（4）
（物語研究）	（1）	（1）	（0）
（スポーツ）	（3）	（0）	（1）
（出版企画）	（0）	（1）	（1）
合計	80 ^件	68 ^件	78 ^件

③研究課題別応募状況

研究課題	平成26年度	平成27年度	平成28年度
(A) シミュレーション&ゲーミングに関する研究	33 ^件	33 ^件	42 ^件
(B) 教育用ソフトウェアの試作	20	16	13
(C) シミュレーション&ゲーミングの先進的独創的な手法の研究	27	19	23
合計	80	68	78

平成 28 年度調査研究助成選考結果

番号	氏名 役職	大学名 学部	調査研究課題	助成 希望金額	助成 金額	充足率 %
1	兼田 敏之 教授	名古屋工業大学 大学院 工学研究科 社会工学専攻	途上国における権利変換型都市再開発プロジェクトを検討するためのシリアスゲームの試作	1,200,000	1,200,000	100.0%
2	田名部 元成 教授	横浜国立大学 国際社会科学研 究院	新規事業戦略策定のための組織学習を支援するシミュレーション&ゲーミング方法論の開発	1,200,000	1,200,000	100.0%
3	宮脇 昇 教授	立命館大学 政策科学部	国際公共政策のゲーミング・シミュレーションのマニュアル化	600,000	540,000	90.0%
4	小山 友介 教授	芝浦工業大学 システム理工学 部 環境システ ム学科	位置情報ゲームの外出行動に与える影響に関する調査研究	1,500,000	1,125,000	75.0%
5	佐々木 誠 助教	岩手大学 理工学部 システム創成工学 科	構音障害者の発話訓練を目的としたシリアスゲームの開発	1,500,000	975,000	65.0%
6	日比野 愛子 准教授	弘前大学 人文社会科学部	エスノグラフィにもとづく文化係留型ゲーミング・シミュレーションの開発実践	800,000	520,000	65.0%
7	浜田 良樹 プロジェクト教 授	名古屋工業大学 コレクティブイン テリジェンス研究 所	良質な日本産ゲーミングの共有と海外展開の手法に関する研究	1,020,000	663,000	65.0%
8	大沼 進 准教授	北海道大学大学院 文学研究科 行動システム科学 講座	” 将来世代の代弁者 ” は合意形成を促進するか「未来との対話」としてのゲーミングシミュレーション再考	850,000	510,000	60.0%
9	在間 敬子 教授	京都産業大学 経営学部	ボトムアップ型環境情報システムに向けた環境学習ゲーミング・シミュレーションの開発	500,000	300,000	60.0%
10	益田 美津美 准教授	名古屋市立大学 看護学部	未破裂脳動脈瘤患者の不安払拭と QOL 改善のためのシリアスゲームを用いた ANSHIN サポートプログラムの開発	1,500,000	675,000	45.0%
11	井門 正美 教授 教職 大学院 長	北海道教育大学 教職大学院	仮想現実・拡張現実等を活用したアクティブラーニングの調査研究と学習コンテンツの開発	1,500,000	675,000	45.0%

12	李 皓 准教授	静岡大学 情報学部 行動情報学科	地方都市における保育所設置場所のゲーミングシミュレーション	900,000	405,000	45.0%
13	玉田 和恵 教授	江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 情報文化学科	ICT 問題解決力育成のための情報リテラシー教育モデルとゲーミング教材の開発	1,000,000	450,000	45.0%
14	木谷 忍 教授	東北大学大学院 農学研究科 生物資源科学専攻	グループワークを活用した体験型環境教育での環境意識萌芽に関する研究	1,200,000	540,000	45.0%
15	鈴木 研悟 助教	筑波大学 システム情報系 構造エネルギー工学域	エネルギー市場政策検討のための化石燃料代替ゲームの開発	1,500,000	652,000	43.5%
16	石橋 健一 教授	名古屋産業大学 環境情報ビジネス学部	公聴会参加住民の意見変化計測モデルの妥当性検証	1,011,540	455,000	45.0%
17	吉田 昌幸 准教授	上越教育大学大学院 学校教育研究科	ゲーミング・シミュレーションを用いた経済教育プログラムの開発	1,050,000	417,500	39.8%
18	鈴木 貴久 助教	津田塾大学 総合政策学部 創設準備室	いじめ問題への評判情報の活用を検討するためのシミュレーション研究	1,200,000	470,000	39.2%
19	斎藤 隆泰 准教授	群馬大学大学院 理工学府 環境創生部門	3DCGおよびVR技術を組み合わせた粒子法ベース防災教育用津波シミュレーターの開発	900,000	351,000	39.0%
20	森 健一郎 准教授	北海道教育大学 教育学部 教育学研究科	ゲーミング・シミュレーションを活用した理科教育における批判的思考力の育成	800,000	312,000	39.0%
21	高橋 里司 助教	電気通信大学大学院 情報理工学研究科	社会実装のための複数ユニットオークションゲームの被験者実験	1,000,000	364,500	36.5%
22	鈴木 正昭 助教	東京理科大学 理工学部 経営工学科	人・社会システムシミュレーションの信頼性と品質保証に関する調査研究	550,000	200,000	36.4%

合計 ￥ 23,281,540 13,000,000 55.8%

平成 28 年度補助金助成選考結果

番号	氏名 役職	大学名 学部	調査研究課題	助成 希望金額	助成 金額	充足 率%
1	齋藤 長行 リサーチャー	慶應義塾大学大学院 メディアデザイン 研究所	ネット依存対策としてのスマホの適切 利用を促す飼育ゲームアプリの効果検 証に関する研究	300,000	300,000	100.0%
2	佐々木加奈子 博士研究員	東北大学大学院 情報科学研究科 メディア文化論研 究室	芸術表現の可能性を取り入れた震災や 地域の記憶継承法のシミュレーション ー福島県浪江町の事例から	300,000	240,000	80.0%
3	木暮 悠太 博士課程	東北大学大学院 農学研究科 資源生物科学専攻	有害鳥獣駆除をめぐる役割意識創発型 ロールプレイングゲームの開発	300,000	240,000	80.0%
4	小野坂 益成 助教	松蔭大学 看護学部 看護学科	アナログゲームを生かした不登校支援 に関するガイドブックの開発	298,300	238,000	79.8%
5	赤木 茅 修士過程	東京工業大学 総合理工学研究科	企業間ネットワークビッグデータを用 いたトランザクションベース経済シミ ュレーションとその応用	300,000	225,000	75.0%
6	宮城 智央 博士課程	琉球大学大学院 医学研究科 脳神経外科学講座	脳神経外科手術戦略を支援するための 物理変形性コンピュータ立体画像を用 いたリアルタイム・バーチャルリアリテ ィ・手術シミュレーションの開発と臨床 応用実用性の評価	200,000	130,000	65.0%
7	財津 駿平 修士課程	東京工業大学 情報理工学院 情報工学系	応募状況開示を前提とした保育施設入 園選考ゲーム&シミュレーションシス テムの開発	300,000	195,000	65.0%
8	駒澤 伸泰 助教	大阪医科大学 麻酔科学教室	医療従事者に対する安全な鎮静法普及 のための E-learning を活用したシミ ュレーション教育の開発	300,000	180,000	60.0%
9	細沼 信之介 修士課程	東京工業大学 情報理工学院 知能情報コース	各国間で観光客を取り合うとき日本が 観光収入を最大にできるような観光政 策シナリオ提案のためのエージェント ベースモデルシミュレーション	300,000	165,000	55.0%
10	アルベルト ヨスア 修士課程	東京工業大学 総合理工学研究科	農家のイノベーション利用促進のため の意思決定エージェントベースモデル	300,000	150,000	50.0%
11	北村 拓也 博士課程	広島大学大学院 工学研究科 学習工学研究室	論理的思考力向上のためのゲーミフイ ケーションを用いたオンラインディバ ートシステム的设计・開発	240,000	120,000	50.0%

12	福井 英次郎 研究員	慶應義塾大学 ジャン・モネ EU 研究センター	ロールプレイングゲームで学ぶ国際政治学	300,000	120,000	40.0%
13	谷 賢太朗 助手	事業創造大学院大学 事業創造研究科	災害時の避難行動を模擬できるシリアスゲーム「マルチプレイ型避難ゲーム」の開発	300,000	120,000	40.0%
14	井上 和久 助手	早稲田大学 理工学術院 環境・エネルギー 研究科	ゲーミングと観光の融合における理論的研究	300,000	105,000	35.0%
15	煤孫 統一郎 博士課程	北陸先端科学技術 大学院大学 先端科学技術研究 科	マルチエージェント・シミュレーションを用いたオフショア開発のプロジェクトマネジメントの研究	300,000	105,000	35.0%
16	岩谷 舟真 博士課程	東京大学大学院 人文社会系研究科	集団間対立のメカニズムー囚人のジレンマを用いた検討ー	230,000	82,000	35.7%
17	寺田 悠希 正会員	非営利活動法人 国土利用再編研究 所	不確実性を考慮したキャリア教育カードゲームの開発と効果測定	240,000	85,000	35.4%
18	米津 篤史 博士課程	電気通信大学大学院 情報理工学研究科	小型無人航空機のためのスマート戦略シミュレーションとリスク解析	300,000	100,000	33.3%
19	福井 昌則 修士課程	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科	数学的ゲーム・パズルを用いたモデリングのスキル向上を目指すプログラミング学習のデザインと実践	300,000	100,000	33.3%

合計 ￥ 5,408,300 3,000,000 55.5%

3. FOST 賞の贈呈

平成19年度より表彰活動の一環として、研究助成金・補助金を受けた研究者の成果報告書の中から最も優れた研究を選考し、その研究者に対して「FOST賞」を贈呈することを開始しました。平成20年度に於いて若手研究者を対象に賞が新設され、平成25年度より「FOST新人賞」としました。FOST賞は研究助成での成果報告者を、FOST新人賞は補助金での成果報告者をそれぞれ対象として表彰することにしました。

さらに、平成23年度にはゲームの研究・開発・応用に関連して、社会貢献という観点から顕著な業績を上げた人または団体を表彰する賞として「FOST社会貢献賞」を加えました。

審査委員会による厳正な審査の結果、FOST賞(賞金50万円)は日本eスポーツ協会理事の馬場章氏が、FOST新人賞(賞金20万円)は東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科の加藤浩平氏が受賞しました。FOST社会貢献賞には、広く一般から候補者の推薦をうけ、審査委員会で協議の結果、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構が受賞しました。

授賞式は平成29年3月9日に帝国ホテル(本館 鶴の間)で開催され、受賞者には賞金のほか、賞状及びトロフィーが贈呈されました。授賞式には受賞者、成果報告者、諸大学・研究団体の関係者が約60名出席され、インターネットのニュースなどにも取り上げられました。

Ⅱ・財団の概況

1. 主要な事業内容

(1) 助成事業

- ・科学技術の融合等に関する調査研究に対する助成
- ・科学技術の融合等に関する学会・研究会等に対する助成
- ・科学技術の融合等に関する国際交流に対する助成

(2) 普及啓発事業

- ・科学技術の融合等に関する優秀研究者の表彰
- ・科学技術の融合等に関する功労者（個人及び団体）の表彰

(3) 調査事業

(4) その他本財団の目的を達成するために必要な事業

2. 事業所

神奈川県横浜市港北区日吉本町1-4-24

3. 平成28年度 理事会・評議員会

理事会・評議員会は次の通り開催されました。

(1) 第16回理事会

平成28年6月2日（木）開催

- | | |
|----------|----------------|
| 議案 第1号議案 | 平成27年度決算について |
| 第2号議案 | 平成27年度事業報告について |
| 第3号議案 | 定時評議員会の招集について |

(2) 第9回評議員会

平成28年6月23日（木）開催

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| 議案 第1号議案 | 平成27年度決算について |
| 第2号議案 | 平成27年度事業報告について |
| 第3号議案 | 理事・監事の改選および新理事の選任について |
| 第4号議案 | 定款の変更について |
| 第5号議案 | 役員および評議員の報酬並びに費用に関する
規程の改訂について |
| 第6号議案 | 評議員選定委員会運営規則の改訂について |
| 第7号議案 | 議事録署名人の選任について |

(3) 第17回理事会

平成28年6月30日（木）開催

- | | |
|----------|------------------|
| 議案 第1号議案 | 襟川陽一氏を理事長に選定する。 |
| 第2号議案 | 襟川恵子氏を専務理事に選定する。 |
| 第3号議案 | 堀口大典氏を事務局長に選任する。 |

(4) 第18回理事会

平成29年2月9日（木）開催

- | | |
|----|------------------------|
| 議案 | 第10回評議員会の招集について第15回理事会 |
|----|------------------------|

(5) 第19回理事会

平成29年3月9日(木)開催

- | | |
|----------|----------------------|
| 議案 第1号議案 | 平成28年度の事業実績と収支見込について |
| 第2号議案 | 平成29年度の事業計画と収支予算について |
| 第3号議案 | 専務理事1名の選定について |
| 第4号議案 | 評議員選定委員会外部委員の選任について |

(6) 第10回評議員会

平成29年3月9日(木)開催

- | | |
|----------|----------------------|
| 議案 第1号議案 | 平成28年度の事業実績と収支見込について |
| 第2号議案 | 平成29年度事業計画と収支予算について |
| 第3号議案 | 理事1名の選任について |
| 第4号議案 | 議事録署名人の選定について |

4. 平成28年度審査委員会

平成28年12月15日(木)開催

- | | |
|--------|----------------------|
| 議案 (1) | 研究助成募集および審査の経緯に関する報告 |
| (2) | 調査研究助成事業採択の審議 |
| (3) | 補助金事業採択の審議 |
| (4) | FOST賞の審議 |
| (5) | FOST新人賞の審議 |
| (6) | FOST社会貢献賞の審議 |

平成28年度 事業報告附属明細表

該当ありません。

平成29年6月
公益財団法人科学技術融合振興財団